

森林保全予算確保に関する要望

平成 24 年 9 月 10 日 (月)

谷口町村会長及び河上市長会長は、県庁に鈴木知事、山本議長、舟橋副議長を訪ね、森林環境の保全を目的とした予算確保についての要望書を提出した。

現在、全国 33 県において「森林づくり」に関する税が条例化されており、本県においても検討が行われている。



谷口会長

鈴木知事



舟橋副議長

山本議長

谷口会長

三重県町村会としては、昨年の紀伊半島大水害にみられるよう、昨今の集中豪雨等による洪水や土砂災害等山林被害の増大に関連して、森林の持つ環境保全機能の重要性を再認識し、その保全にかかる予算確保等について要望したものである。

なお、提出した要望内容は、以下のとおりである。

森林保全予算確保に関する要望書

森林は、木材の供給だけでなく、山地災害の防止、水源のかん養、温暖化防止に対する二酸化炭素の吸収源などといった自然循環における公益的機能を有し、一方で、生活の疲れを癒してくれる保健休養の場としての役割など、私たちの暮らしに様々な恵をもたらしている。

しかし、近年、木材価格の低迷や担い手の高齢化等により、十分な手入れが行われることなく放置され、森林が本来持つ様々な機能を発揮できない状況に

なっている。地球温暖化の影響ともされる大型台風や集中豪雨による山崩れ、洪水といった災害が山間部や平野部を問わず頻発するなど、私たちの生活への様々な影響が生じている。

特に、昨年9月の台風12号による紀伊半島大水害においては、急激な増水を伴う洪水や大規模な山崩れとともに流出した土砂、流木が甚大な被害をもたらしたところである。

また、海上に流出した流木が、被災地以外の港湾や海岸に漂流するなど被害が広域化したことから、改めて森林の持つ保水力や土砂の流出防止に果たす役割が再認識され、災害に強い森林づくりが求められている。

よって、県におかれては、健全で災害に強い森林づくりを推進するため、下記事項について配慮し、一層の森林保全にかかる予算の確保に努められるよう強く要望する。

記

1. 現行の県予算編成において、森林づくりと林業振興にかかる予算を拡充し、災害に強い森林づくりを一層推進すること。
2. 現在検討されている「森林づくり税（仮称）」の創設にあたっては、災害に強い森林づくり等の新たな財源として活用するとともに、市町において創意工夫した森林づくりに活用できるよう市町と十分協議を行うこと。

また、その導入に際しては、健全な森林の維持・管理やそのための新税導入の必要性を県民に対して十分に説明し、税の用途をわかり易く説明した上で、新たな税の導入の理解を十分に得ること。

平成24年 9月10日

三重県町村会
会長 谷口友見